

令和3年10月13日

社会貢献委員等による子どもの事故未然防止巡回活動の実践

中国遊技機商業協同組合（山本基庚理事長）では、毎年全日遊連において実施されている「子どもの車内放置事故防止対策」の取り組み趣旨に賛同し、平素からホール様と連携のある組合員が「ホール駐車場等における子どもの車内放置事故ゼロ」を目指した巡回活動を継続実施しているところ、平成元年度から効果的な実践活動を目指して実態確認のため、新たに社会貢献活動の一つに追加し、今年度9月22日、社会貢献委員長等4名が山口県内1カ所のホール様を訪問し実施しました。

昨年度は、世界を震撼させている新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けて中止しておりましたが、今年度は、訪問先ホール様との連携と協力体制を密にして感染拡大防止対策に十分配慮のうえ、店長の方との情報交換後、ホール様従業員の案内のもと幼児車内放置ゼロの腕章(中国遊商作製)を付けて巡回活動を実践しました。

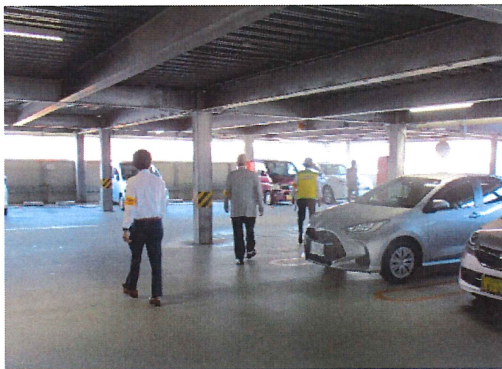
(写真1・2参照)

平面駐車場の他、立体駐車場3階までの平素の巡回コースの案内を受けて巡回後、独自に駐車車両の確認を行いました。チャイルドシート付きの車両も散見されるなか、子どもの乗車は認めませんでした。今回、従業員の方と一緒に巡回する機会に触れ、子どもの事故未然防止活動に日々地道に取り組まされている姿を垣間見ることができました。

今回の活動を通じて巡回時間帯の設定や視認が困難な車両内確認等の重要性を再認識し、今後も子どもの尊い命を守るため継続的活動として取り組んでいく方針です。

参考

○ (写真1)



2階駐車場の案内を受ける社会貢献委員長等

○ (写真2)



1階駐車場駐車車両の状況